1 新規就農事例（女性）

【園芸・花き／新ひだか町】

地原 有紀
Chihara Yuki

●出身地：東京都
●就農時期：平成31年4月
●就農前：楽器関係の仕事

経営の概要
営農形態：花卉栽培
面積2,000㎡(借地)、花きハウス5棟

研修先
新日高町農業担い手育成支援協議会

就農支援制度の活用
●農業次世代人材投資資金
（準備型・経営開始型）
●青年等就農資金
●新ひだか町の農業実習制度

動機から就農まで

東京の楽器業界でフルート製作をしていた地原さんは、「美術や音楽が好きでモノづくりも好き、という事がいい感じで合わさって…」と動機を話します。そこから「きれいな花作りをしたい。」という目標を決め動き始めました。新・農業人フェア（東京）に参加し、北海道農業公社から花き・単身女性受け入れ可能な新ひだか町の紹介を得て訪問。対応の職員から農業体験を勧められ、フェアの2か月後には新ひだか町で5日間の農業体験を行い「ここで花作りがしたい。」という気持ちを固めました。体験終了時に就農研修に申し込み、翌年4月から新ひだか町農業実験センターで花栽培の研修を2年間受け、平成31年4月より農業経営をスタートしました。

後輩へのアドバイス

自分のやりたいとことが決まったら、ぶれずに目標に向かってください。最終的には、自分で決めていく事が多く出てきます。自分の気持ちに素直に向き合い判断していけばいいと思います。

今後の経営に向けた方向性

自分がハウス資材を譲り受けた高齢の農業者の方がいたように、次に渡せる若い農業者が次々と入ってくれる町であって欲しいと思います。就農を自然に後押ししてくれた新ひだか町に感謝しています。

2 新規就農事例（女性）

【園芸・野菜／石狩市】

北佳農園

廣井 佳蓮

Hiroi Karen

- 出身地：新潟県
- 就農時期：令和3年3月
- 就農前：学生

経営の概要

営農類型：施設園芸（ミニトマト）等
面積7,400㎡(借地)、ハウス6棟

研修先

石狩市農業総合支援センター

就農支援制度の活用

- 農業次世代人材投資資金（準備型・経営開始型）
- 青年等就農資金

動機から就農まで

子どものころから土に触れることや植物を育てることに興味がありました。大学では1年目から「就職」ではなく「就農」活動に励み、夏休みのたびに道内各地の農家で働かせてもらって、自分にはどんな農業が合うかを模索してきました。

北海道で新規就農を受け入れている自治体はたくさんありますが、夫婦であることや一定の資金があることを条件にしているところが多く、大学を卒業したばかりの私にはかなり高いハードル…。そんな中、条件よりもまず私が目指す農業の話に耳を傾けてくれて、親身に受け止めてくれたのが石狩市であり、令和3年3月に営農を開始しました。

後輩へのアドバイス

就農するには、地域に溶け込みながら責任感を持って取り組むことが重要だと思います。きっと石狩市で充実したライフワークを送れると思いますよ。

今後の経営に向けた方向性

一棟当り約2tの収量を維持しつつ、収量と品質の両立という実績を積むことが現在の目標。

また、北佳農園直売所も設置し、自ら作る農産物の新鮮さや美味しさを伝える取り組みを行なっています。

3 新規就農事例（女性）

【園芸・野菜／石狩市】

佐々木 洋実

Sasaki Hiromi

- 出身地：石狩市
- 就農時期：令和3年3月
- 就農前：専門学校の非常勤講師

経営の概要

営農形態：施設園芸（ミニトマト）
面積2,000㎡(借地)、ハウス14棟

研修先

石狩市農業総合支援センター

就農支援制度の活用

- 農業次世代人材投資資金（準備型・経営開始型）
- 青年等就農資金

動機から就農まで

就農を意識したのは今から数年前。子育てが一段落し、これからの人生で何をしていきたいかと考えた時に、「経営がしたい」「ものづくりがしたい」「長く継続できる仕事がしたい」といった私の希望を並べてみて、農業ならこれらを全部満たせるかもしれないと思い至ったのです。

石狩市は私の地元なんですが、正直、農業のことはほとんど知りませんでした。ところが、新農業人フェアを通じて知り合った方から紹介していただいたのが偶然、石狩市の農家さんだったという縁もあり、ふるさとでの就農にチャレンジし、令和3年3月に営農を開始しています。

後輩へのアドバイス

体力や自己資金、農業経験の有無よりも、自分がどれだけ農業をやりたいかが一番だと思いますので、まずは支援センターや農家の方の話を聞いてみる事をお勧めします。

今後の経営に向けた方向性

野菜を生のままで販売することに限界があると考え、6次産業化に取り組んでおり、ミニトマトを使ったジェラート（GELATOMA）は第30回北海道加工食品コンクールで「北海道食品産業協議会会長賞」を受賞。地域の祭りでも自身の加工品を販売するなど地域の活性化に取り組んでいます。